

報道関係各位

2026年8月4日

住友不動産株式会社
住友不動産ステップ株式会社

《2026年7月24日、東京ガーデンシアターで開催》
『第123回サマーステップコンサート』
～ドリーミー・ナイト ミュージカル&クラシック～
6,000名様を全席無料でご招待しました

- ◆「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託
- ◆体験格差解消に取り組む「こども冒険バンク」へ体験枠を提供

住友不動産グループは、7月24日（金）に家族そろって楽しめるコンサート『第123回サマーステップコンサート』を、東京ガーデンシアター（東京都江東区有明）にて開催いたしましたのでお知らせいたします。

本コンサートは、“芸術・文化に触れ合う機会の創出”を目的に、本格的なクラシックコンサートを誰もが一緒に楽しむことができるよう全席無料でご招待するもので、1987年より開催を続け、今年で39年目となります。123回目となる今回は、昨年7月の第120回公演より1,000名増の6,000名様をご招待し、大盛況のうちに幕を閉じました。当社グループは、社会貢献活動の一環として、今後も様々な文化・芸術活動の支援・発信を通じて、より一層、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



『第123回サマーステップコンサート ～ドリーミー・ナイト ミュージカル&クラシック～』の様子

■人気ミュージカルやクラシックの名曲を歌とオーケストラでお届け

今回は、元宝塚歌劇団月組トップ娘役として活躍し、退団後は舞台やテレビドラマの話題作に多数出演する俳優の愛希れいか氏と、ヴォーカル・グループ「LE VELVETS」のメンバー（テノールを担当）である佐藤隆紀氏を迎えて「モーツァルト！」から“星から降る金”、「ジキル&ハイド」から“時が来た”、「アナと雪の女王」から“とびら開けて”、などを披露。加えて、歌劇「アイダ」から“凱行進行曲”といったクラシックの名曲を、指揮は角田鋼亮氏、管弦楽は東京フィルハーモニー交響楽団の演奏でお届けしました。

《ステップコンサートとは》

「ステップコンサート」は、住友不動産グループの社会貢献活動の一環として、1987年の第1回開催以来、35年超の歴史を誇るコンサートです。“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、毎回国内外で活躍の指揮者や演奏家、オーケストラを迎え、これまでに多くのお客様を無料でご招待。児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価から、1996年より「厚生労働省 社会保障審議会特別推薦 児童福祉文化財」に指定されています。

『第123回サマーステップコンサート ～ドリーミー・ナイト ミュージカル&クラシック～』開催概要	
開催日時	2026年7月24日(金) 開演 18:30
会場	東京ガーデンシアター 〒135-0063 東京都江東区有明2-1-6
出演者	ヴォーカル／愛希 れいか、佐藤 隆紀(LE VELVETS)、指揮／角田 鋼亮、 管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団、司会／塚本 江里子
プログラム	ウィリアムズ／オリンピック・ファンファーレとテーマ シュトラウス2世／雷鳴と電光 リーヴァイ／「モーツァルト！」から“星から降る金” カプア／オー・ソレ・ミオ ワイルドホーン／「ジキル&ハイド」から“時が来た” ロジャース／「サウンド・オブ・ミュージック」から“ドレミの歌” シベリウス／交響詩「フィンランディア」 ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 ロベス／「アナと雪の女王」から“とびら開けて” デイビッド、ホフマン／「シンデレラ」から“夢はひそかに” メンケン／「アラジン」から“フレンド・ライク・ミー” 久石譲／「ハウルの動く城」から“人生のメリーゴーランド” ヴェルディ／歌劇「アイーダ」から“凱行進曲”
招待者数	6,000名(無料／全席ご招待)
主催者	住友不動産グループ



東京フィルハーモニー交響楽団の本格的なクラシック演奏



愛希れいか氏、佐藤隆紀氏(LE VELVETS) による歌唱



指揮・角田鋼亮氏

■ お子様のクラシック音楽との出会いを提供する「指揮者に挑戦コーナー」

本コンサートでは、お子様がクラシック音楽を聴くだけでなく、楽しみ触れる機会として、お客様の中から実際に舞台上に上がっていただき、本格的なオーケストラの指揮を体験する「指揮者に挑戦コーナー」を設けており、毎年大変ご好評をいただいています。

こうした取り組みにより、児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価を受け、1996年より「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」に指定されております。

※指揮者体験は大人の方も対象としています。



来場者による「指揮者に挑戦コーナー」

■ 「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託

ステップコンサートでは、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災から義援金活動をはじめ、2004年以降、社会福祉活動のため「介助犬の育成・普及」に少しでもお役に立ちたいと、会場で募金活動を行っております。

今回も、会場にて「介助犬育成・普及のための募金」の受付を行い、ご来場者様より、合計で**709,985円**の募金が寄せられました。お預かりした募金は『社会福祉法人 日本介助犬協会』に寄付し、介助犬の育成・普及のために活用されます。

「震災復興支援の義援金」や「介助犬育成・普及のための募金」など、1995年の募金開始からこれまでに累計で2,100万円を寄付しております。



ステージ上での介助犬のデモンストレーション



PR犬と触れ合いの機会を提供

■ 体験格差解消に取り組む「こども冒険バンク」へ体験枠を提供

本コンサートでは、芸術・文化に触れ合う体験として、昨年に続き「こども冒険バンク」へご招待席を提供いたしました。

認定NPO法人フローレンスが運営する「こども冒険バンク」は、家庭の事情など、さまざまな理由から学校外の体験活動が不足しがちな子どもたちの体験格差解消を目指し、企業などが無料で提供する体験コンテンツを自由に選び申し込みできるプラットフォーム事業です。



「こども冒険バンク」キービジュアル
(提供: 認定NPO法人フローレンス)

■会場の様子



「指揮者に挑戦コーナー」で多くの手が挙がる客席



フォトスポットパネルでの記念撮影



介助犬育成のための募金活動

■『花王国際こども環境絵画コンテスト』受賞作品の展示

花王株式会社の「世界のこどもたちが“地球の環境・未来への想い”を込めて表現した作品を募集し、受賞作品の展示会を行うことで、世界中の人々の心を動かし、サステナブルなライフスタイルを実践するきっかけとなることを願う」という本コンテストの想いに賛同し、受賞したおよそ40作品をコンサート会場内で展示いたしました。会場内がこどもたちのカラフルな作品で彩られ、多くのお客様の目を引きました。

世界のこどもたちの豊かな想像力で描き出された作品に触れ、想いを知ること、来場者の心を動かすきっかけとなることを願っております。



展示の様子



お客様が展示をご覧になる様子

(参考) 東京屈指の劇場型※イベントホール「東京ガーデンシアター」

当社グループが運営する複合街区「有明ガーデン」内の劇場型ホール「東京ガーデンシアター」は、都心近接かつ羽田や東京、品川からもアクセス至便な好立地に位置します。同ホールは最大収容人数約8,000人を誇り、大迫力のライブイベントから、国際会議まで対応可能とする、4層の客席フロアからなる東京屈指の劇場型※イベントホールです。ステージから最も離れた席でも約54mの離隔距離となり、どの席からもステージが見やすい立体的な構造としているため、他の同規模ホールと比べ、よりアーティストと近く、臨場感と迫力のあるライブをお楽しみいただけます。



東京ガーデンシアター 外観

※観客席が四方から取り囲むアリーナ形式と区別し、オペラ劇場などに見られるステージと客席が向かい合うエンドステージ形式で、観客の見易さ、音響効果に配慮した設計であること、さらに演劇場で見られるプロセニウム(額縁)を、保有する幕で作ることができることから。

※本リリースに関する取り組みは、以下のSDGs目標に貢献しています。



目標3 すべての人に健康と福祉を
目標4 質の高い教育をみんなに
目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

当社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

＜弊社のESG、SDGsに関する取り組み＞

<https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/sdgs.html>

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042



◆ヴォーカル／愛希 れいか *Reika Manaki*

福井県出身。元宝塚歌劇団月組トップ娘役として数々の作品で魅力を放ち、2018年の退団後は舞台・映像の両分野で活躍の幅を広げている。舞台では「ファントム」、「フラッシュダンス」、「泥人魚」、「エリザベート」、「マリー・キュリー」、「トッツィー」、「イリュージョニスト」、「マタ・ハリ」など話題作に出演し、確かな表現力と存在感で高い評価を得る。映像では、大河ドラマ「青天を衝け」「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」をはじめ、「大奥 Season2」「3000万」(以上、NHK)「未恋〜かくれぼっちたち〜」(KTV)「相棒 season23」(EX)、日曜劇場「リブート」(TBS)、映画「木挽町のあだ討ち」などに出演。



◆ヴォーカル／佐藤 隆紀(LE VELVETS) *Takanori Sato*

福島県喜多方市出身。国立音楽大学演奏学科声楽専修卒業。重厚感と迫力のある歌声でクラシックのみならず、様々なジャンルの音楽を独自の世界で創り上げているヴォーカル・グループ「LE VELVETS」のメンバーとして活動。ソロとしても、ホールコンサートを開催するほか、ミュージカル俳優としてもグランドミュージカル作品を中心に活躍の場を広げている。2019年より「レ・ミゼラブル」にて3期連続で主演ジャン・バルジャン役を務め、2026年にはミュージカル「ジキル&ハイド」で主役を好演。同作および「エリザベート」での活躍により第51回菊田一夫演劇賞を受賞。また、ディズニー・アニメーション「ズートピア2」では日本版声優デビューを果たす。主な出演作は「ベートーヴェン」、「CHESS THE MUSICAL」、「マリー・アントワネット」、「キューティ・ブロンド」、「マタ・ハリ」など。



© Makoto Kamiya

◆指揮／角田 鋼亮 *Kosuke Tsunoda*

東海高校卒業後、東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、N 響、読響、都響、東響、東京フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、九響等と共演している。2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。



©上野隆文

◆管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団 *Tokyo Philharmonic*

1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バットィストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。国民的番組『NHK紅白歌合戦』『クラシックTV』のほか2020-2021年には『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組にも登場。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。



©Ayane Shindo

◆司会／塚本 江里子 *Eriko Tsukamoto*

東京芸術大学声楽科、同大学院オペラ科修了。ガチャピン・ムックでお馴染みの子ども向け番組「ボンキッキーズ」にて、第11代目うたのおねえさんを務める。子どもの歌から、オペラ、ミュージカル、司会、ボディパーカッション等、多彩な表現で音楽交流を実践している。また、東京文化会館ワークショップリーダーとして音楽ワークショップの制作に力を注ぎ、日本やポルトガルで公演。論語指導士としても活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。音楽ワークショップ「ミーゴのまほう(全3話)」をYouTubeで配信中。